

図書館だより

枚方市立図書館通信第61号

枚方市立図書館のホームページでもご案内しています

平成24年1月 枚方市立中央図書館発行

〒573-1159 枚方市車塚2-1-1(バス停「片鉾・中央図書館」前)

TEL 050-7105-8141 FAX 072-851-0962

中央図書館は毎週金曜・第4火曜休館

各分館は毎週月曜・第3木曜休館

あけましておめでとうございます

今年が龍年です。図書館も昇り龍のように飛躍の年となるよう職員一同努力していきますので、今年もどうぞよろしくお願いたします。



第2次枚方市子ども読書活動推進計画(案)に関する意見募集(パブリックコメント)を実施します

期間:平成24年1月5日(木)~1月25日(水)まで

くわしくは、各図書館・分室にお問い合わせください。

◆図書館整理休館のお知らせ◆

枚方市立図書館は、蔵書点検のため、下記のとおり休館します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、休館中も返却ポストは開いています。

中央図書館 1月30日(月)~2月5日(日)
香里ヶ丘図書館 2月6日(月)~2月13日(月)
牧野図書館、菅原図書館2月13日(月)~
2月20日(月)
楠葉図書館、御殿山図書2月20日(月)~
2月27日(月)
さだ図書館、津田図書館2月27日(月)~
3月5日(月)

- 本や雑誌は、返却ポストに入れてください。
- DVD・ビデオ・CDは、開いている図書館・分室・自動車文庫のカウンターにお返しくください。

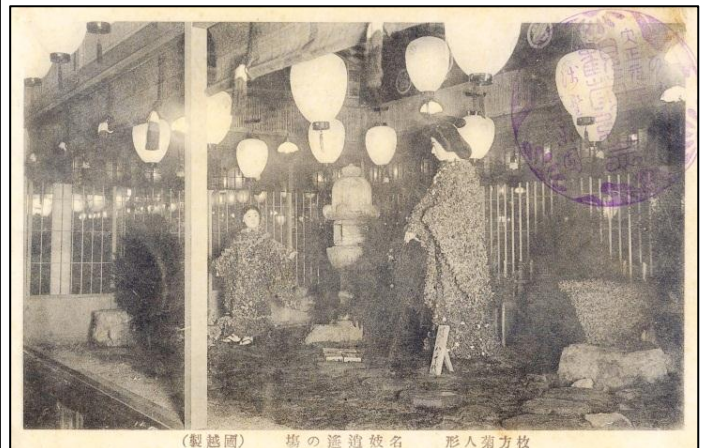
市史資料室よもやま話

18 枚方と菊が会って100周年

枚方の市花といえば菊ですが、その由縁ともいべき「ひらかた大菊人形」が枚方で開催され始めてから、今年でちょうど100周年にあたります。こういって、2010年にすでに100周年を記念して菊人形が一度復活したのでは?と疑問を持つ方もおられるかもしれません。

そもそも菊人形は、1910年(明治43年)に開園した香里遊園地(現在の寝屋川市)で始まりました。翌年も同じ場所で開かれましたが、その直後に香里遊園地は住宅地として開発されることになり、遊園地機能は現在の枚方公園に移ってきます。そして1912年(大正元年)10月6日に、枚方で初の菊人形が開幕しました。枚方と菊の接点という意味では、今年が記念すべき年にあたるわけです。

偶然ですが、昨年末に市民の方がお持ちの資料を調査していたところ、枚方菊人形の写真に「大正元年観菊記念」のスタンプが捺された絵葉書を確認しました。まさに、枚方と菊が会った瞬間を収めた貴重な写真といえるでしょう。関連する絵葉書の写真を市史資料室の前に展示しているので、是非ご覧ください。(1/5~4/1まで)



(製越園) 菊の道遊覧名 形人菊方枚

モチーフは当時難波で人気を博した芸者八千代。右上にスタンプが捺される。(満永義幸氏提供)

各図書館と分室の1月イベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会

乙 一ノ著 『失はれる物』

➤ 1月21日(土) 午後3時 2階ホール

- 枚方公園分室 成人読書会

夏樹 静子/著 『椅子がこわい』

➤ 1月27日(金) 午前10時半

○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図) 1月11, 25日(水)

「0歳のおはなしひろば」午前10時半

「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分

- 楠葉(図) 「はじめてのえほん」1月11日(水)

0歳: 午前10時半 1歳から: 午前11時

- 牧野(図) 「親子で楽しむおはなし会」

➤ 1月18日(水) 午前11時

- さだ(図) 「おはなしいっぱいおはなし会」

➤ 1月18日(水) 午前11時

○工作など

- 釈尊寺分室 「作ってあそぼう! ジャンプごま」

➤ 1月11, 12日(水, 木) 午後1時~4時半

- 茄子作分室 「ばんざいオニさんをつくろう」

➤ 1月18日(水) 午後1時~4時半

- 氷室分室 「ブンブンごまをつくろう!」

➤ 1月19日(木) 午後1時~4時半

- 宮之阪分室 「おにのぼうしをつくろう!」

➤ 1月19日(木) 午後2時~4時半

- 香里園分室 「くるくるおにさん」

➤ 1月21日(土) 午後1時~4時

- 東香里分室 「びっくりカメラ」

➤ 1月21日(土) 午後1時~4時

- 藤阪分室 「せいでんきであそぼう」

➤ 1月28日(土) 午後1時~午後4時

○その他

- 香里園分室 「手話の会」

➤ 1月13, 27日(金) 午前10時半~正午

- 藤阪分室 「手話の会」

➤ 1月23日(月) 午前10時~正午

(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)



1月のふれあいルーム(午前10時~午後0時半)

- 中央(図) ぱおぱお 12(木), 16, 23日(月)
- 香里ヶ丘(図) ハートネット 6, 20日(金)
さくらんぼ 12, 26日(木)
- 菅原(図) ぴよんぴよんうさぎ 8, 15, 22, 29日(日)
- さだ(図) ひよこっこ 5, 12, 26日(木), 20日(金)
- 御殿山(図) とこ・とこ 6, 20日(金)
おひさま 13, 27日(金)
- 牧野(図) わくわくパンダ 6, 13, 20, 27日(金)
- 津田(図) きゅーぴーちゃん 11, 18, 25日(水)
- 楠葉生涯学習市民センター(午前9時半~正午)
あかちゃんたんぽぽのおへや 10, 24日(火)

【問い合わせ】子育て支援室 TEL841-1221(代)



ちょっと紹介

『緑の家』上・下巻(バルガス=リヨサ著/岩波文庫)

ラテンアメリカ文学は、これまで私たち日本人には馴染みが薄かった。この本の著者は、ペルー出身の作家バルガス=リヨサ。2010年のノーベル文学賞受賞者だ。

大江健三郎は、新聞の書評で『私より早くノーベル文学賞を受賞すべき作家だ』と、リヨサを評価している。

「緑の家」は1966年に発表された。舞台はアマゾン流域とその周辺。娼婦、原住民、治安警備隊員、などの織り成す五つのストーリーが相互に関連し、絡み合いながら展開していく。

読み始めると、時を超え錯綜した構成に戸惑う。どうなっているのかと、首を傾げたくなる。しかし、読み進むうちに絡まった糸が徐々に解きほぐされる。五つのストーリーが一つに収斂され、作品の全体像が浮かび上がってくる。

そして、大河アマゾンの流域に住む人々の生きざまが俯瞰図のように見えてくる。

ぜひじっくりと読んでいただきたい作品だ。